

(講座) 臨床薬学 (研究室) 病院薬学
(氏名) 中嶋幹郎 (職名) 教授

【研究テーマ】

1. 医薬品の適正使用に関する研究
2. 臨床での調剤・医療コミュニケーションを基盤とする実学研究
3. 薬物治療・薬物動態の最適化に関する基礎的および臨床薬学的研究
4. 薬効・副作用に関するスクリーニング法の開発

【発表論文】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. R. Hirayama, K. Nishida, S. Fumoto, M. Nakashima, H. Sasaki and J. Nakamura: Unilateral kidney-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA to the kidney surface in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **28**, 181-184 (2005)(1.392)
2. K. Nishida, M. Kamenosono, A. Kuma, S. Fumoto, T. Mukai, M. Nakashima, H. Sasaki and J. Nakamura: Delivery advantage to the unilateral kidney by direct drug application to the kidney surface in rats and pharmacokinetic verification based on a physiological model, *J. Drug Target.*, **13**, 215-223 (2005)(1.907)
3. T. Kondoh, N. Amamoto, T. Doi, H. Hamada, Y. Ogawa, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Aikawa, T. Tanaka, M. Aoki, J. Harada and H. Moriuchi: Dramatic improvement on donepezil in down's syndrome-associated cognitive impairment, *Ann. Pharmacother.*, **39**, 563-566 (2005)(1.739)
4. T. Kondoh, M. Nakashima, H. Sasaki and H. Moriuchi: A pharmacokinetics study on donepezil in down's syndrome patient, *Ann. Pharmacother.*, **39**, 572-573 (2005)(1.739)
5. J. Iwashita, S. Kodama, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Taniyama and M. Watanabe: Induction of micronuclei in CHO cells by bleomycin but not by X-irradiation is decreased by treatment with HMG-CoA reductase inhibitors, *J. Radiat. Res.*, **46**, 191-195 (2005)(1.191)
6. J. Nakamura, K. Kobayashi, S. Fumoto, J. Nishi, T. Mukai, M. Nakashima, H. Sasaki and K. Nishida: Stomach- and site-selective delivery of 5-fluorouracil following its application on the gastric serosal surface in rats, *Biol. Pharm. Bull.*, **28**, 1049-1053 (2005)(1.392)
7. K. Nishida, A. Kuma, S. Fumoto, M. Nakashima, H. Sasaki and J. Nakamura: Absorption characteristics of model compounds from the small intestinal serosal surface and a comparison with other organ surfaces. *J. Pharm. Pharmacol.*, **57**, 1073-1077 (2005)(1.348)

8. K. Nishida, R. Fujiwara, Y. Kodama, S. Fumoto, T. Mukai, M. Nakashima, H. Sasaki and J. Nakamura: Regional delivery of model compounds and 5-Fluorouracil to the liver by their application to the liver surface in rats: its implication for clinical use, *Pharmaceut. Res.*, **22**, 1331-1337 (2005) (2.325)
9. R. Hirayama, K. Nishida, S. Fumoto, M. Nakashima, H. Sasaki and J. Nakamura: Effect of solution composition of plasmid DNA on gene transfection following liver surface administration in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **28**, 2166-2169 (2005) (1.392)

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 北原隆志、中嶋幹郎、村田雪香、江頭かの子、嶺 豊春、一川暢宏、佐々木均: テオフィリン徐放錠の溶出性に対するpHの影響、*日本病院薬剤師会雑誌*、**41**、405-408 (2005).
2. 樋口則英、小嶺嘉男、濱本知之、北原隆志、河浪梨恵、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、佐々木均: 高カロリー輸液無菌調製における異物混入の原因に関する調査解析、*医療薬学*、**31**、211-216 (2005).
3. 樋口則英、北原隆志、嶺 豊春、江頭かの子、本多令奈、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均: オーダリングシステムを利用したリスクマネジメントへの貢献第2報-市販オーダリングシステムの改良による処方・注射オーダ間併用禁忌チェックシステムおよび新規メンテナンスシステムの開発-、*日本病院薬剤師会雑誌*、**41**、715-719 (2005).
4. 上島泰二、中嶋幹郎、北原隆志、江藤和裕、一川暢宏、嶋本正実、西野 隆、島田浩一郎、深堀京子、岩松洋之、相川康博、佐々木均: 病院薬剤師が担うセーフティマネジメント、*九州薬学会会報*、**59**、99-105 (2005).
5. 樋口則英、濱本知之、津田佳代子、江頭かの子、中村純三、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均: 総合ビタミン配合型高カロリー輸液キット製剤導入に伴う問題点の調査、*日本病院薬剤師会雑誌*、**41**、1245-1248 (2005).

(B-c) 著書

1. 寺菌英之、中嶋幹郎、佐々木均: 外用抗菌薬/点眼抗菌薬、*抗菌薬以外の外用薬*、*新薬展望 2005*、p345-349、医薬ジャーナル社、大阪 (2005) .
2. 中嶋幹郎、上島泰二、佐々木均: *調剤業務のリスクマネジメント「薬剤師の実務に生かせる情報検索改訂第4版」*、折井孝男監修、p68-73、エルゼビア・ジャパン、東京 (2005).

(B-d) 紀要、その他

1. 中嶋幹郎、佐々木均：医療現場におけるコミュニケーションスキル 1 序論：医療コミュニケーションとは、*医薬ジャーナル*、**41**、969-972 (2005)。

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Uematsu, M. Nakashima, N. Ichikawa, T. Kitaoka, K. Taniyama and H. Sasaki: Electrophysiological study for estimation of corneal epithelial disorders after instillation of eyedrops, The 7th Association for Ocular Pharmacology and Therapeutics, Abstracts p95, Catania, Italy (2005).
2. M. Uematsu, M. Teshima, N. Ichikawa, M. Nakashima, H. Sasaki and T. Kitaoka: Gene transfer to the eye utilizing the cationic liposomes after intravitreal injection in rabbits, ARVO 2005, Abstracts p223, Florida, USA (2005).
3. M. Nakashima, N. Taketa, H. Fukuchi, H. Watanabe, H. Terazono, N. Ichikawa, K. Nishida, J. Nakamura and H. Sasaki: Effects of adipocytokines on CYP mRNA expression and drug metabolism in HepG2, The 13th NA ISSX/the 20th JSSX Meeting, Abstracts p204, Maui, USA (2005).
4. M. Teshima, K. Kashiwagi, K. Nishida, J. Nakamura, T. Kitahara, N. Ichikawa, M. Nakashima and H. Sasaki: Optimization of prednisolone pharmacokinetics by sterically stabilized liposomes, The 13th NA ISSX/the 20th JSSX Meeting, Abstracts p277, Maui, USA (2005).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 山口健太郎、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均：当院でのチーム医療における薬剤師の役割と責務、第4回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム&研修会抄録、p79-81、福岡 (2005)。
2. 荒木良介、中嶋幹郎、佐々木均：病院実務実習 (TDM実習) に関する取り組みと成果、第4回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム&研修会抄録、p129-130、福岡 (2005)。
3. 手嶋無限、柏木 香、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均：パルミトイル化プレドニゾロン封入リポソームのラット静脈内投与後の体内動態、日本薬剤学会第20年会講演要旨集、p168、東京 (2005)。
4. 中嶋幹郎、川上 恵、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、谷山紘太郎、北岡隆、佐々木均：抗アレルギー点眼剤の角膜障害性に関する電気生理学的研究、日本薬剤学会第20年会講演要旨集、p278、東京 (2005)。

5. 一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均、岩本喜久生：薬剤管理指導業務を基盤としたチームの展開、日本薬学会第125年会講演要旨集1、p198、東京（2005）。
6. 兒玉幸修、武田典子、福地弘充、寺菌英之、篠原一之、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均：アディポサイトカインの薬物代謝酵素に及ぼす影響、日本薬学会第125年会講演要旨集2、p120、東京（2005）。
7. 手嶋無限、中村 優、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均：Plasmid DNA/polyethylenimine複合体およびアニオン性高分子を用いた三重複合体によるHepG2細胞への遺伝子導入、日本薬学会第125年会講演要旨集2、p144、東京（2005）。
8. 山口健太郎、濱本知之、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均：長崎大学病院における乳癌外来化学療法の現状調査-外来化学療法のチーム医療化へ向けて-、日本薬学会第125年会講演要旨集2、p188、東京（2005）。
9. 江頭かの子、北原隆志、柏木 香、嶺 豊春、樋口則英、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均：耐性乳酸菌製剤の適正使用調査および新規抗菌薬に対する薬剤感受性の検討、日本薬学会第125年会講演要旨集2、p193、東京（2005）。
10. 濱田久男、濱本知之、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均：心臓リハビリテーションチームへの薬剤師の参画、医療薬学フォーラム2005講演要旨集、p149、鹿児島（2005）。
11. 嶺 豊春、土井健志、中島由希子、中村純三、中村忠博、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均：長崎大学医学部・歯学部附属病院におけるガチフロ錠の適正使用に関する調査、医療薬学フォーラム2005講演要旨集、p178、鹿児島（2005）。
12. 河野 茂、柳原克紀、中嶋幹郎、佐々木均、篠原一之、安田賢二：薬物・医療スクリーニングを目指したオンチップ・セロミクス計測技術の開発プロジェクト、第21回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p256、長崎（2005）。
13. 金子智行、小島健介、中嶋幹郎、佐々木均、安田賢二：ドラッグスクリーニングのための心筋拍動細胞ネットワークの構築、第21回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p258、長崎（2005）。
14. 佐々木均、中嶋幹郎、篠原一之、柳原克紀、河野 茂：JSTプロジェクトから長崎大発ベンチャーへ、第21回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p262、長崎（2005）。
15. 手嶋無限、柏木 香、西田孝洋、中村純三、北原隆志、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均：脂質組成の異なるPEG修飾リポソームを用いた薬物体内動態制御の試み、第21回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p320、長崎（2005）。

16. 多田勇己、吉田昇平、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、佐々木均:非ウイルスベクターを用いた遺伝子デリバリーへの病態の影響-四塩化炭素誘発肝障害マウスにおける検討-、第 21 回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p340、長崎 (2005)。
17. 木下真理子、堀下美由紀、麓伸太郎、西田孝洋、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:粘性添加剤による抗癌薬 5-fluorouracilの肝臓表面からの吸収動態制御、第 21 回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p356、長崎 (2005)。
18. 柏木 香、下寺陽恵、手嶋無限、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、佐々木均:生体膜親和性脂質添加カチオン性リポソームを用いた新規遺伝子ベクターの探索、第 21 回日本DDS学会予行集Drug Delivery System、20、p369、長崎 (2005)。
19. 渡部紘子、武田典子、福地弘充、寺菌英之、篠原一之、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均:薬物代謝酵素の発現に及ぼすアディポサイトカインの影響、第 15 回日本医療薬学会年会講演要旨集、p234、岡山 (2005)。
20. 荒木良介、中嶋幹郎、湯川栄二、福地弘充、一川暢宏、小宮憲洋、早野元信、矢野捷介、佐々木均:アミオダロンの最低血中濃度データ値を利用した母集団薬物動態解析-クリアランスに影響を及ぼす肥満の影響-、第 15 回日本医療薬学会年会講演要旨集、p279、岡山 (2005)。
21. 西田孝洋、稲岡奈津子、三宅秀明、坂本竜一、岡崎円香、栄田敏之、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:低体温療法時の体内動態変動予測を目的とした各種モデル薬物の体内動態の解析、第 15 回日本医療薬学会年会講演要旨集、p282、岡山 (2005)。
22. 金子智恵子、土井健志、大間啓太、大石和徳、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均:ペン型インスリン注入器の操作法および使用性比較、第 15 回日本医療薬学会年会講演要旨集、p358、岡山 (2005)。
23. 田代浩幸、宮崎長一郎、池崎隆司、博多屋幸治、山形浩介、中村忠博、中嶋幹郎、和田光弘、西田孝洋、中村純三、永田修一、佐々木均、天本祐世、中村 博:職能向上へ向けた新たな研修計画「長崎県薬剤師アドバンスト研修プログラム」について、第 38 回日本薬剤師会学術大会講演要旨集、p199、広島 (2005)。
24. 濱本知之、土持真由美、樋口則英、森田光貴、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均:院内製剤 5%ハイドロキノロン軟膏の使用状況とその有用性に関する検討、第 38 回日本薬剤師会学術大会講演要旨集、p411、広島 (2005)。
25. 川上 恵、中嶋幹郎、北原隆志、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、谷山紘太郎、北岡 隆、佐々木均:抗アレルギー点眼薬の角膜上皮バリアーに対する影響-新しい評価システムによる検討-、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p32、福岡 (2005)。

26. 西 順也、西田孝洋、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:臓器選択的な消失過程の阻害に基づく新規DDSの開発-Probenecidの臓器表面投与に関する基礎的検討-, 第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p33、福岡 (2005).
27. 土持真由美、麓伸太郎、西田孝洋、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:プラスミドDNAの肝臓表面への微量滴下による肝臓内部位特異的遺伝子導入、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p34、福岡 (2005).
28. 中島由希子、西田孝洋、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:マーカー物質の透過性を指標とした腹膜肥厚の評価法、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p35、福岡 (2005).
29. 津田佳代子、西田孝洋、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:肝臓表面からの薬物吸収動態に及ぼす病態の影響、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p36、福岡 (2005).
30. 荒木良介、中嶋幹郎、湯川栄二、福地弘充、北原隆志、一川暢宏、小宮憲洋、早野元信、矢野捷介、佐々木均:アミオダロンの最低血中濃度データ値を利用した母集団薬物動態解析、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p90、福岡 (2005).

【学会役員等】

1. 日本医療薬学会評議員
2. 日本 TDM 学会評議員

【過去の研究業績総数】

原著論文	(欧文)	55 編	(邦文)	22 編
総説	(欧文)	1 編	(邦文)	3 編
著書	(欧文)	1 編	(邦文)	7 編
紀要・その他	(欧文)	1 編	(邦文)	21 編